

聖書を読む

学生YMCAの基本的な活動として聖書を読む会があります。キリスト教の信仰を持つ持たないにかかわらず、聖書に書かれた「ことば」そして「イエスの歩み」から何かを感じ取ってそれを皆で共有することを大切にしています。聖書の骨子を踏まえつつも、特定の解釈にとらわれずに一人一人が聖書に向き合い、そこから得たメッセージを尊重していきます。このように学生YMCAのメンバー同士が真剣に聖書から何かを学び取ろうとする中で他者への理解が深まり、また自分自身の姿が明らかにされてゆきます。

共に聖書を読んでいくときは、あなた自身の感性をきたえ、そして貴重な仲間を見つけるときとなるでしょう。



日本YMCA基本原則

私たち日本のYMCAは、イエス・キリストにおいて示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、世界のYMCAとのつながりのなかで、次の使命を担います。

私たちは、すべての人びとが生涯をとおして全人的に成長することを願い、すべてのいのちをかがえのないものとして守り育てます。

私たちは、一人ひとりの人権を守り、正義と公平を求め、喜びを共にし痛みを分かちあう社会をめざします。

私たちは、アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の人びとと共に平和の実現に努めます。

(1996年6月15日第106回日本YMCA同盟委員会採択)

学生YMCAとは

「YMCA」って聞いたことがありますか。英会話に専門学校、子どものためのキャンプにフリースクールに、プールにボランティア活動など、国内に120以上の拠点があるので、赤三角形のシンボルを一度は見たことがあるかも知れません。YMCA (Young Men's Christian Association) は1844年産業革命時のロンドンで青年たちが過酷な労働と荒廃した生活を送る状況の中で、なんとか改善しようと12人の青年たちが集まり結成されたのが始まりでした。現在、主に青少年の育成を目指して、世界122の国と地域で活動を行っています。

学生YMCA(略して「学Y」と呼ばれています。)は、YMCA活動の中で、特に全国の大学及び学生寮などを拠点にした学生中心の活動のことを言います。現在、全国には32のグループがあり(内11が大学寮を持つ)、約250名の学生が参加しています。

日常活動は、聖書を読んだり、読書会を行ったりして、日々見過ごされがちな、「ゆっくりお互いの声に耳を傾け合う」ことを大切にしています。また地域間、全国、そして海外交流も盛んで、「思いがけない体験や出会い」がたくさん生まれ、驚きや感動の輪が広がっています。全国各地域のサポートとして3名のコーディネーターがおり、学生と活動を共にする他、OB・Gまた他団体からも協力や支援を受けています。

学Yは100年を超える歴史の中で、社会において多くのリーダーシップを送り出してきました。青少年の心の問題がクローズアップされている中で、地域にある大学を拠点に、世界に広く分かち合う関係を作りだしていく活動は貴重ではないでしょうか。活動への関りかたは、それぞれの自由ですし、費用についても実費程度の負担です。

「一生の友」と呼べる仲間と共に、学生時代を送ってみませんか。

北海道大 東北大 東大 早稲田大 一橋大 中央大 慶応義塾大 立教大 京都大 京都府立医科大 同志社大 大阪YMCA国際専門学校関西学院大 聖和大 鳥取大 岡山大 広島大 九州大 西南学院大 長崎大 活水女子大 熊本大 など全国各地で活動が行われています。

日本のYMCAには、都市にて青少年活動、野外活動、語学教育などを行う都市YMCAがあります。学Yは、もちろん都市YMCAのプログラムに協力したり、共に国際協力プログラムなどに参加したりします。また、YMCAをサポートするワイズメンズクラブという団体からも支援・協力を頂いています。学Yというチャンネルを通して、世界のYMCAへつながります。

学生YMCAに関する詳細お問い合わせは下記までお願いします。

日本YMCA同盟 160-0003

東京都新宿区本塩町7 TEL03-5367-6645・FAX03-5367-6641

info@ymcajapan.org <http://www.ymcajapan.org/>



ようこそ 学生YMCAへ

学生YMCAでは多種多様なプログラム活動が行われています。具体的にどのような活動をしているかについては紹介にあるとおりですが、どのプログラムにも共通していることは、講義のような「教える - 教わる」の形式ではなく、一人一人を尊重し、互いに学びあい、創り上げていくことです。またプログラムを通して人がいかに生きるか、学ぶかについて考えます。それが学生YMCAの最大の特徴ともいえるでしょう。

また全国規模、海外の活動があり、学内、寮内プログラムの活動の枠を超えての地域、全国、海外での交流は自らの考えをさらに深め、また人と人とのつながりも全国に広がります。それから得られる経験は大変貴重です。私たち学生YMCAは、このような活動を通して学生生活を有意義に過ごすことができるはずだと考えています。

あなたもぜひ学生YMCAに参加してみてください!



飛び出せ海外 集まれ全国 プログラム紹介



インド・スタディキャンプ (毎年3月、約15日間)

学Y海外プログラムの大きな目玉であるインド・スタディキャンプは、「人と触れ合う」「聖書を読む」「人に伝える」を3本柱にこれまで10回行われました。インドという場所で、約15日間子どもたちと過ごすこのプログラムは、参加者にとって喜びや葛藤、笑

いと涙に満ち溢れた日々になり、帰国後も参加者の心にインドで触れた「何か」を残さずにいられません。



日韓学生YMCA 交流プログラム

(毎年1月、約5日間。)

隔年で日本と韓国を訪問し合い、それぞれの国の抱える問題、また日本と韓国・朝鮮の間に横たわっている問題をテーマとし、対話と交流を続けてきました。交流会の準備として学習会を積み重ね、普段の生活では見えにくい日本社会の問題点や矛盾に触れます。私たちが暮らす社会のありように、たくさんの出会いと学びがあるでしょう。

全国学生YMCA 夏期ゼミナール

(通称「夏期ゼミ」。毎年8月末、3日間)

日本全国から参加者が集う夏のこのプログラムは、一年のまさに集大成です。アイスブレイキングで始まり、講演、聖研、各グループに分かれての振り返り、スポーツや懇談会などまさに盛りだくさん。参加者は多くの友人と深い気づきが与えられる学びを得ています。近年は、「聖書」と「社会的現場」を2本の柱にして、本田哲郎氏、渡辺英俊氏、高橋哲哉氏、栗林輝夫氏など第一線で活躍する講演者を迎え、2005年度はWSCFより海外ゲストを迎えワークショップを行いました。参加すると日本全国、また海外にも友達の輪が広がり、視野もぐんと広がりますよ。



WSCF (World Student Christian Federation : 派遣随時、不定期)

WSCFは、世界学生キリスト教連盟のことを言い、学生キリスト教運動(SCM)の国際的連合団体で、1895年に結成されました。現在約100カ国のSCMが参加しています。日本からは、1897年以来、学生YMCAが、日本のSCMとして参加しています。WSCFのアジア・太平洋地域プログラムであるリーダーシップトレーニングや女性のためのワークショップ、世界総会などの数々のプログラムに学生YMCAから参加者を派遣しています(タイ、ミャンマー、インドネシア、フィリピン、台湾、韓国など)。

パレスチナオリーブ収穫プログラム

(毎年10月、約10日間)

イエス生誕の地にあるYMCAを拠点に、平和の象徴であり、パレスチナの主たる経済的資源であるオリーブの実の収穫を行います。また紛争をめぐる状況の視察やイスラエル・パレスチナ和平のための活動をする団体を訪ね、話し合いや交流を持ちます。



ジェンダーについて考えるグループ・ミリアム

(年3~4回、不定期)

聖書の登場人物モーセの姉の名前をとったこのプログラムは当初、女性だけのグループでした。近年では、男性も参加する「ジョイント・ミリアム」として、「就職性差別」「援助交際」「DV(家庭内暴力行為)」「日本における人身売買」などをテーマに行われています。これらの問題が、私たちの日常の中に浸透している「性」に対する固定観念や偏見と、密接に関係していることを発見させられることがしばしばです。

「マジメあり楽しさあり」が学Yプログラムの特色なので、肩ひじ張らずに気軽ご参加下さい。部分参加も可能。プログラムによっては、遠隔地学生交通費・参加費補助の支給もあります。お問い合わせください。(これらのプログラムのためにワイズメンズクラブ国際協会東西日本区、学生YMCA賛助会よりご支援いただいております。)